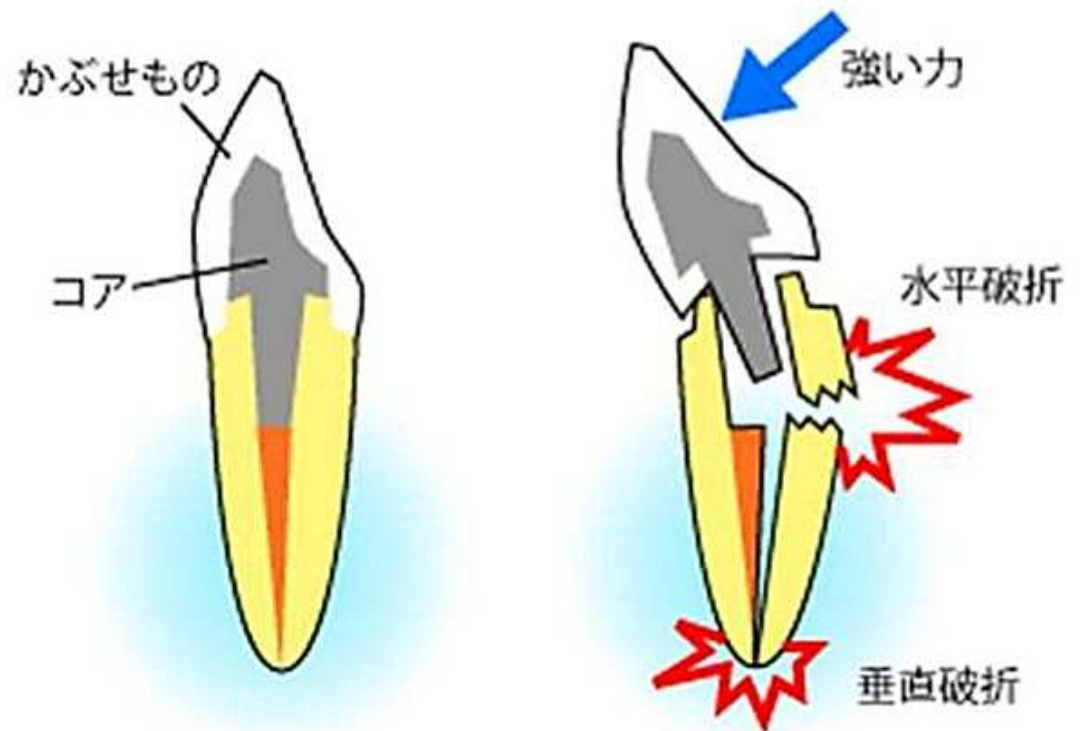


★歯が割れた！？・・・歯を失う原因の第3位！歯根破折の恐怖！！

歯の神経を取った後の歯は、強度が弱くなるためにかぶせものを作る前に土台（コア）を作ります。

しかし、このコアの材質が金属で、歯（象牙質）よりも硬い場合、強い力がかかった時に、歯を割る事があるのです。

垂直破折や、骨よりも深い部分の水平破折の場合、歯を残せずに抜歯になる事がほとんどなのです。



最も理想的な材質は、保険診療では認められませんがファイバーという材料を使用したコアです。このファイバーは歯と同じような曲げ強度を持ち、強い力がかかっても歯を割る恐れが2~7倍以上減ります。

日本補綴歯科学会作成 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン 2008

小林賢一 次第築造を考える。支台歯形成と咬合の基本. 医歯薬出版. 2010;78-108

特に、大きな虫歯で歯茎の上にほとんど歯が残っていないような歯にコアを作るときは、ファイバーコアを優先的に選択することが、歯の長期保存のために強く望まれます。

★歯が火傷した！？・・・歯を熱の刺激から守るオールセラミックス！！

金属を使用しない白いかぶせものは、金属よりも熱を伝えにくいいため、熱いものや冷たいものを食べた時に、熱から歯を守る効果が高いです。

歯の神経は非常にデリケートで、特にかぶせものや、つめ物を作るために削ってあると、お口の中の熱の刺激を直接受けてしまいます。そんな歯に金属をかぶせると、ずっとしみる感じが残ったり、痛みが出たりします。

熱伝導率(cal/sec/cm²/°C/cm)

参考 http://www.oralstudio.net/clinic/begin/beg010_004.php

歯のエナメル質	0.0022
歯の象牙質	0.0015
レジン（プラスチック）	0.0005
陶材（セラミックス）	0.0025
金合金（金属）	0.710

ご自分の歯やプラスチック、セラミックスの約300倍！！